



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亙
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 原田 恭子 (TEL) 06-6531-8211
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,729	△21.9	490	△64.2	489	△64.5	250	△71.3
2020年3月期第3四半期	16,296	△10.2	1,368	△27.1	1,378	△27.1	871	△35.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 187百万円(△74.3%) 2020年3月期第3四半期 730百万円(△36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	35.56	—
2020年3月期第3四半期	123.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,062	10,560	49.2
2020年3月期	21,866	10,675	47.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 10,372百万円 2020年3月期 10,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△24.5	300	△81.2	290	△82.3	10	△99.1	1.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	7,210,000株	2020年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	233,849株	2020年3月期	128,221株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	7,034,985株	2020年3月期3Q	7,081,779株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により急激に悪化し、一部の先進諸国において段階的な経済活動再開に向けた動きは見られたものの、各国における感染再拡大を受けて依然として厳しい状況が続いております。

わが国経済も、5月の緊急事態宣言の解除後は徐々に経済活動再開の動きはあるものの、2020年後半の大都市圏を中心とした感染再拡大により、先行き不透明感が強まっております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2020年1～3月は1兆971億円（前年同期比3.4%減）、4～6月は9,147億円（同19.9%減）、7～9月は9,418億円（同15.0%減）、10月は3,535億円、11月は3,452億円と低調に推移しております。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属する国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

しかしながら、当第3四半期における受注高は前年同期比52億9百万円減（同31.8%減）の111億5千9百万円、受注残高は前年同期比22億7千4百万円減（同32.4%減）の47億4千3百万円となりました。売上高につきましては、前年同期比35億6千7百万円減（同21.9%減）の127億2千9百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減等に努めましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少により、営業利益は前年同期比8億7千8百万円減（同64.2%減）の4億9千万円、経常利益は前年同期比8億8千9百万円減（同64.5%減）の4億8千9百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券売却益1百万円を特別利益に、投資有価証券評価損2百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税2億1百万円、法人税等調整額4千2百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6億2千1百万円減の2億5千万円（同71.3%減）となりました。

日本におきましては、懸念されていた新型コロナウイルスの感染再拡大により経済活動の再開の動きが停滞し、日用雑貨や容器・物流関連は比較的堅調に推移したものの、自動車関連については引き続き低調であったことから、売上高は前年同期比19億3百万円減（同17.8%減）の88億1千万円となりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は前年同期比4億4千6百万円減（同35.6%減）の8億8百万円、セグメント利益（経常利益）は前年同期比5億2千1百万円減（同38.0%減）の8億5千1百万円となりました。

東アジアにおきましては、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の収束に伴い中国国内では経済活動は回復傾向にあるものの、民間設備投資については回復するまでには至らず、売上高は前年同期比9億8千1百万円減（同21.9%減）の34億9千4百万円となりました。損益面では、操業度の低下に伴う製造固定費単価上昇による売上総利益率の低下（26.6%→20.2%）と売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が2億1千7百万円（前年同期は4千7百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が2億4千6百万円（前年同期は8千1百万円の経常損失）となりました。

東南アジアにおきましては、前年度後半から続くタイ、インドネシアの自動車関連を中心とした設備投資意欲の減退に加え、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、経済活動の制限が続いていること等により、売上高は前年同期比7億8千万円減（同42.1%減）の10億7千5百万円となりました。損益面では、売上総利益率の低下（33.0%→27.7%）と売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が9千6百万円（前年同期は1億5千3百万円の営業利益）、セグメント損失（経常損失）が8千9百万円（前年同期は1億5千8百万円の経常利益）となりました。

北中米におきましては、米中貿易摩擦の長期化および新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の制限が続いていること等により引き続き低調に推移し、売上高は前年同期比1億2千5百万円減（同66.2%減）の6千3百万円にとどまりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が6千2百万円（前年同期は4千2百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が7千7百万円（前年同期は4千5百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおり、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金、商品及び製品が減少したこと等により5億9千4百万円減少し、159億6千2百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物、その他の有形固定資産が減少したこと等により2億9百万円減少し、50億9千9百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8億3百万円減少し、210億6千2百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金、1年内償還予定の社債、未払法人税等が減少したこと等により6億8千8百万円減少し、67億9百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、社債が減少したこと等により0百万円減少し、37億9千1百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6億8千9百万円減少し、105億1百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、自己株式が増加し、為替換算調整勘定が減少したこと等により1億3千5百万円増加し、108億1千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や世界各地において新型コロナウイルスの感染再拡大が広がりつつあることから、引き続き低調に推移しております。わが国経済も、新型コロナウイルスの収束には時間を要するとともに、プラスチック成形関連の製造業の設備投資には慎重な動きが見られ、投資意欲の回復は緩やかなものになると予想しております。

一方、当社グループの通期の連結業績予想につきましては、前回予想より、短納期の標準機や改造・修理案件の増加等により売上高が増加したことに加え、個別案件ごとの部品や工事等の原価管理の徹底、諸経費の更なる低減が進んだこと等より、営業利益、経常利益も改善が見込まれることから、2021年1月29日に業績予想の修正を行っております。(詳細は2021年1月29日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。)

当社グループにおきましては、引き続き新型コロナウイルス感染防止策を徹底するとともに、二次電池関連業界向けの販売拡大、IoT、5G、AI、バイオプラスチック等への対応による新規市場・成長分野における事業展開の強化、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上、経営基盤の強化とESG経営の推進により、強靱な企業体質の構築を図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,603,596	6,137,374
受取手形及び売掛金	7,141,010	6,404,439
商品及び製品	1,330,744	859,289
仕掛品	817,023	836,297
原材料及び貯蔵品	1,398,393	1,362,054
その他	353,036	450,130
貸倒引当金	△86,908	△86,883
流動資産合計	16,556,896	15,962,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,197,684	2,094,239
土地	1,397,539	1,392,883
その他(純額)	630,749	538,401
有形固定資産合計	4,225,973	4,025,524
無形固定資産		
その他	439,239	427,774
無形固定資産合計	439,239	427,774
投資その他の資産		
その他	645,762	647,979
貸倒引当金	△1,404	△1,404
投資その他の資産合計	644,358	646,574
固定資産合計	5,309,571	5,099,874
資産合計	21,866,467	21,062,575
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,187,705	1,962,919
短期借入金	3,012,003	3,184,684
1年内償還予定の社債	237,500	137,500
未払法人税等	300,633	56,345
製品保証引当金	99,948	85,326
役員賞与引当金	47,700	—
その他	1,513,260	1,283,033
流動負債合計	7,398,752	6,709,808
固定負債		
社債	56,250	18,750
長期借入金	2,708,329	2,725,753
役員退職慰労引当金	102,163	—
退職給付に係る負債	818,794	792,452
その他	106,576	254,824
固定負債合計	3,792,113	3,791,781
負債合計	11,190,866	10,501,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	8,300,549	8,338,226
自己株式	△43,670	△133,654
株主資本合計	10,303,411	10,251,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,349	94,185
為替換算調整勘定	88,992	26,863
その他の包括利益累計額合計	161,342	121,048
非支配株主持分	210,847	188,831
純資産合計	10,675,601	10,560,986
負債純資産合計	21,866,467	21,062,575

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	16,296,518	12,729,365
売上原価	11,426,063	9,275,720
売上総利益	4,870,454	3,453,644
販売費及び一般管理費	3,501,963	2,963,575
営業利益	1,368,491	490,069
営業外収益		
受取利息	6,440	8,196
受取配当金	9,188	8,517
保険解約返戻金	42,243	26,491
助成金収入	8,666	30,033
その他	39,711	43,846
営業外収益合計	106,251	117,084
営業外費用		
支払利息	58,339	54,000
為替差損	18,022	46,378
その他	19,774	17,629
営業外費用合計	96,136	118,007
経常利益	1,378,606	489,146
特別利益		
固定資産売却益	4,018	727
投資有価証券売却益	—	1,699
特別利益合計	4,018	2,426
特別損失		
固定資産除売却損	1,613	246
投資有価証券評価損	—	2,070
特別損失合計	1,613	2,317
税金等調整前四半期純利益	1,381,011	489,255
法人税、住民税及び事業税	349,857	201,366
法人税等還付税額	△81,151	—
法人税等調整額	212,512	42,897
法人税等合計	481,218	244,263
四半期純利益	899,793	244,992
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	871,835	250,130
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	27,957	△5,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,341	21,835
為替換算調整勘定	△198,829	△79,006
その他の包括利益合計	△169,488	△57,171
四半期包括利益	730,304	187,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	696,405	209,836
非支配株主に係る四半期包括利益	33,899	△22,015

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	10,134,829	4,142,785	1,838,372	180,531	16,296,518	—	16,296,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	579,321	333,728	16,989	8,993	939,032	△939,032	—
計	10,714,150	4,476,513	1,855,361	189,524	17,235,551	△939,032	16,296,518
セグメント利益又は 損失(△)	1,373,115	△81,864	158,649	△45,141	1,404,758	△26,152	1,378,606

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,404,758
セグメント間取引消去	△26,152
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	1,378,606

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	8,350,423	3,257,709	1,058,079	63,152	12,729,365	—	12,729,365
セグメント間の内部 売上高又は振替高	460,263	237,002	17,060	836	715,163	△715,163	—
計	8,810,686	3,494,711	1,075,140	63,989	13,444,528	△715,163	12,729,365
セグメント利益又は 損失(△)	851,244	△246,081	△89,990	△77,732	437,439	51,707	489,146

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	437,439
セグメント間取引消去	51,707
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	489,146

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	7,851,619	△16.2
東アジア	2,400,229	△39.7
東南アジア	299,743	△57.8
合計	10,551,592	△25.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は販売価格によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	7,437,568	△30.2	2,963,688	△38.6
東アジア	2,787,868	△32.6	1,548,801	△14.9
東南アジア	869,485	△41.9	204,081	△42.6
北中米	65,040	△18.1	27,244	45.1
合計	11,159,963	△31.8	4,743,815	△32.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	8,350,423	△17.6
東アジア	3,257,709	△21.4
東南アジア	1,058,079	△42.4
北中米	63,152	△65.0
合計	12,729,365	△21.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。